

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

【目 次】

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(令和5年4月19日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和5年5月17日開催)	……	2
3	教育委員会 第6回定例会	(令和5年6月14日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和5年7月18日開催)	……	2
5	教育委員会 第8回定例会	(令和5年8月18日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和5年9月21日開催)	……	3
7	教育委員会 第10回定例会	(令和5年10月25日開催)	……	3
8	教育委員会 第11回定例会	(令和5年11月13日開催)	……	4
9	教育委員会 第12回定例会	(令和5年12月19日開催)	……	4
10	教育委員会 第1回定例会	(令和6年1月16日開催)	……	4
11	教育委員会 第2回定例会	(令和6年2月20日開催)	……	5
12	教育委員会 第3回定例会	(令和6年3月21日開催)	……	6

II 教育委員会における事務の点検及び評価

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア	認定こども園への支援	……	7
イ	相談体制の充実	……	7

(2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	8
イ	情報活用能力の育成	……	8
ウ	教職員の指導力向上	……	9
エ	ふるさと教育・キャリア教育の推進	……	9
オ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	10
カ	いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進	……	10
キ	英語教育・国際理解教育の充実	……	11
ク	非核平和教育の推進	……	11
ケ	食育の推進	……	12
コ	学校給食の運営	……	13

(3) 特別支援教育の充実

ア	就学相談体制の充実	……	13
---	-----------	----	----

イ	特別支援教育の充実	14
ウ	総合支援学校の運営	14
エ	生徒への就労支援	15
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備	15
イ	学校給食施設の整備	16
ウ	I C T環境の整備	16
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業に対する支援	17
2	子育て環境の充実	
(1)	子育て支援の充実	
ア	子育てを支援する地域社会づくりの推進	17
イ	保育サービスの充実	18
ウ	保育施設の適正配置の推進	19
エ	放課後児童クラブ（学童保育）への支援	19
III	点検及び評価に対する意見等	19

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和5年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

【学識経験者】

- ・ 矢川 京（新潟県立小千谷高等学校校長）
- ・ 菅原 誠 廣（前教育センター所長）
- ・ 大瀧 良子（認定こども園つくし幼稚園園長）

I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和5年度に教育委員会定例会を12回開催し、18件の議案を審議しました。また、議事録承認12件、陳情1件、協議報告事項は70件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日時 令和5年4月19日（水） 午後4時13分～午後5時04分
- ・ 場所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第3回定例会
- ・ 議事 (2件)

議案第26号	教育委員会委員の議席の決定について	原案承認
議案第27号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認

- ・ 協議報告事項（6件）
 - ・ 始業式当日の児童生徒の欠席状況及びマスク着用状況について
 - ・ 越後おぢや農業協同組合からの社会科副読本の寄贈について
 - ・ 全県教育長会議の報告について
 - ・ 小千谷学生寮歓迎会の状況について
 - ・ 小千谷教科用図書採択について
 - ・ 令和5年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について

2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日 時 令和5年5月17日(水) 午後3時55分～午後4時39分
- ・ 場 所 市役所本庁403会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第4回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第28号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
-----------------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項(4件)
 - ・ 学校における新型コロナウイルス感染症への対応状況について
 - ・ 中学校リーダー研修会について
 - ・ 関東地区都市教育長総会について
 - ・ 学校訪問における懇談会の進め方について

3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和5年6月14日(水) 午後3時01分～午後4時07分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第5回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第29号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和5年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第2号)について))	原案承認
--------	---	------

- ・ 協議報告事項(4件)
 - ・ 不登校児童生徒の親の会(スマイルの会)開催について
 - ・ 「いのち・愛・人権」小千谷展について
 - ・ 保育園制服廃止の検討について
 - ・ 学校訪問の様子について

4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和5年7月18日(火) 午後3時02分～午後4時34分
- ・ 場 所 市役所本庁大会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第6回定例会
- ・ 議 事 (3件)

議案第30号	臨時代理について(東小千谷中学校土日部活動通学費補助金交付要綱の制定について)	原案承認
議案第31号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案承認
議案第32号	小学校教科用図書の採択について	原案承認

- ・ 協議報告事項(7件)
 - ・ 市議会第2回定例会一般質問について

- ・令和5年度新潟県少年の主張大会～私の主張～市内選考結果について
- ・今年度の主な学校施設整備について（小千谷中学校・総合支援学校）
- ・1学期のいじめ・不登校等について
- ・中学校中越大会の結果について
- ・教育委員会の行政視察研修について
- ・学校訪問の様子について

5 教育委員会第8回定例会

- ・ 日 時 令和5年8月18日(金) 午後4時18分～午後5時08分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第7回定例会
- ・ 議 事 (0件)
- ・ 協議報告事項 (5件)
 - ・ 令和5年度北信越中学校総合競技大会の結果について
 - ・ 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - ・ 令和5年度1学期いじめ認知報告及び不登校児童生徒の状況について
 - ・ 私の主張長岡地区大会の結果について
 - ・ 保育園制服のアンケート結果について

6 教育委員会第9回定例会

- ・ 日 時 令和5年9月21日(木) 午後1時29分～午後2時11分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 承議事録認 令和5年第8回定例会
- ・ 議 事 (0件)
- ・ 陳 情 (1件)

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書	原案可決
-------	------------------	------

- ・ 協議報告事項 (7件)
 - ・ 市議会第3回定例会一般質問について
 - ・ 2学期始業式における児童生徒の出欠状況について
 - ・ 「中越大震災の日」に係る取組について
 - ・ 科学作品展覧会について
 - ・ コロナ関連の学級閉鎖の状況について
 - ・ 総合教育会議の議題について
 - ・ 教育委員会の行政視察研修について

7 教育委員会第10回定例会

- ・ 日 時 令和5年10月25日(水) 午後3時48分～午後4時24分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第9回定例会
- ・ 議 事 (0件)

- ・ 協議報告事項（5件）
 - ・ 小千谷みらい議会について
 - ・ 中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
 - ・ いじめ対策専門委員会について
 - ・ スマイルキャンプについて
 - ・ 片貝小学校150周年記念式典について

8 教育委員会第11回定例会

- ・ 日 時 令和5年11月13日(月) 午後4時20分～午後4時50分
- ・ 場 所 市役所本庁大会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第10回定例会
- ・ 議 事 (0件)
- ・ 協議報告事項（5件）
 - ・ おぢやしごと未来塾について
 - ・ イングリッシュセミナーについて
 - ・ おぢやっ子わくわくメニューの実施について
 - ・ 小千谷市PTA連合会研究大会について
 - ・ 総合支援学校、小千谷中学校工事の状況について
 - ・ 「いのち・愛・人権」小千谷展について

9 教育委員会第12回定例会

- ・ 日 時 令和5年12月19日(水) 午後3時58分～午後4時43分
- ・ 場 所 市役所本庁大会議室
- ・ 議事録承認 令和5年第11回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第33号	臨時代理について（議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について（令和5年度小千谷市一般会計（教育委員会所管）補正予算（第5号）について）	原案承認
--------	--	------

- ・ 協議報告事項（5件）
 - ・ 新潟県教職員組合の要望と回答について
 - ・ 第4回市議会定例会における一般質問について
 - ・ 「いのち・愛・人権」小千谷展について
 - ・ 市内中学校長・高等学校長連絡会について
 - ・ おぢやしごと未来塾の報告について

10 教育委員会第1回定例会

- ・ 日 時 令和6年1月16日(火) 午後4時10分～午後5時14分
- ・ 場 所 市役所本庁403会議室

- ・ 議事録承認 令和5年第12回定例会

- ・ 議 事 (3件)

議案第1号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の追加採択について	原案承認
議案第2号	小千谷市が設置する特定教育・保育施設に係る費用の額を定める要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案承認
議案第3号	小千谷市特定教育・保育等に要する費用の額の算定に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案承認

- ・ 協議報告事項 (7件)

- ・ 部活動の段階的な地域移行の小千谷市の方針・今後の見通しについて
- ・ 3学期始業式の出席状況について
- ・ 2学期のいじめ不登校等の状況報告について
- ・ 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (速報)
- ・ 市議会第4回定例会一般質問について (答弁内容の報告)
- ・ 令和6年度保育園の入園申込状況について
- ・ 卒業式の日程と出席について

1.1 教育委員会第2回定例会

- ・ 日 時 令和6年2月20日(火) 午後3時55分～午後4時53分

- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室

- ・ 議事録承認 令和6年第1回定例会

- ・ 議 事 (5件)

議案第4号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和5年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第7号)について))	原案承認
議案第5号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和5年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第9号)について))	原案承認
議案第6号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和6年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)当初予算について))	原案承認
議案第7号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について))	原案承認
議案第8号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議	原案承認

	案についての意見の申し出について（小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について）	
議案第9号 (非公開)	令和6年度管理教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項（4件）
 - ・ 令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査結果について
 - ・ 全国中学校スキー大会の結果について
 - ・ エデュケーショントークについて
 - ・ 市内各学校への寄贈について

1.2 教育委員会第3回定例会

- ・ 日 時 令和6年3月21日(木) 午後3時58分～午後5時10分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和6年第2回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第10号	臨時代理について（教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて）	原案承認
--------	--	------

- ・ 協議報告事項（11件）
 - ・ 給食センター給食費について
 - ・ 令和6年度小千谷市教職員の人事異動について
 - ・ 教育委員会関連の小千谷市褒賞者について
 - ・ 市議会第1回定例会一般質問について
 - ・ 小千谷学生寮の状況について
 - ・ 不登校対策事業について
 - ・ 寄贈関係について
 - ・ スポーツ振興の集いについて
 - ・ 学びの多様化学校視察について
 - ・ 卒業式の感想について
 - ・ 令和5年度教育委員会総括について

II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、後期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和5年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和5年度 主要な施策の成果説明資料（兼事務報告）」（以下「資料」という。）を参照することが適当なものは、資料の該当ページを表示しました。

1 学校教育の充実

(1) 幼児教育の充実

ア 認定こども園への支援

【令和5年度取組み】

- 教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園（私立3園）に対し、特色ある教育の推進と充実を図るため、運営費補助及び助言による運営支援を行った。

※資料P84～85 「○子ども・子育て支援事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 国、県及び市による認定こども園に対する支援を継続し、待機児童が発生しないよう、官民一体による保育ニーズへの対応と質の高い保育の提供に努める。

イ 相談体制の充実

【令和5年度取組み】

- 令和5年度から特別支援教育指導主事を配置し、より専門的な指導助言を行うことができるようになり、各園との連携が強化された。
- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 就学相談をより円滑に推進するため、各園における特別支援教育の相談窓口となる発達支援コーディネータを各園に配置し、研修会の実施や小学校との情報交換を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学相談等への助言や就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料P149～152 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- より専門的な指導助言を行うことができたため、各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問や各園への発達支援コーディネータの配置により、早期からの就学相談が定着してきている。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制のより一層の充実を図る。

○特別支援教育に係る研修の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

ア 学校の創意を活かす教育の推進

【令和5年度の取組み】

- 「おぢやっ子教育プラン」（令和4～6年度）の内容を学校訪問の際に各学校に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おぢやっ子教育プラン」に基づき、校長のリーダーシップのもと、各校が「おりなす教育推進事業」計画を立て、家庭・地域と共に学校・地域の特色を生かした実践を行った。
- 各校の「おりなす教育推進事業」を冊子にまとめ配付している。各校は他校の取組を参考にすることができている。

※資料P149～152 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校訪問等を通して、直接「おぢやっ子教育プラン」の教職員への周知を図ることができた。また、教育長より市教研総会にて説明があり、共通理解が図られた。
- 「おぢやっ子教育プラン」のよこ糸である家庭や地域の役割を各学校がグラウンドデザインに取り入れている。メディアコントロール・家庭学習が課題となっていることから、学校と保護者が連携しながらメディア使用時間や家庭学習の取組を進めていく。
- 小・中特別支援学校新学習指導要領、及び新潟県の学校教育の重点を受け、「生きる力」を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「単元構想の工夫」「対話のある学び」「ICT活用」を重点的に取り組んでいく。

イ 情報活用能力の育成

【令和5年度の取組み】

- 一人一台パソコンを活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践が進んだ。欠席した児童生徒とのオンライン授業やデジタル教材を活用した授業実践が推進されている。

【成果及び今後の取組み等】

- G I G Aパソコンの利用が進むことに並行して「情報モラル教育」が重要になってくる。セキュリティソフトのインストールなど安全にパソコンを利用できる環境を整備していく。
- デジタル教科書の使用とともに、教員の情報活用能力を高めていく必要がある。

- 小千谷の子は長時間SNSを利用する傾向にあることが全国学力・学習状況調査により明確になった。SNS利用のルールについて改訂「おぢやっ子教育プラン」（令和4～6年度）のとおり取り組んでいく。

ウ 教職員の指導力向上

【令和5年度の取組み】

- 教育委員会や教育センター主催の研修会を実施した。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。
- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の実施結果を各校で分析し、学力向上や生活習慣等の向上に取り組むように指導した。

【成果及び今後の取組み等】

- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の結果分析を夏休み中に実施し、2学期以降の指導に生かすことができた。学習の楽しさを実感させたり学習意欲を高めたりする手立てを行い、ICTの活用を重点的に取り組む。
- 新採用教員が増えている。小千谷塾での個別指導をとおして、教員としての基本的な資質・能力の向上を図ることが必要である。
- 全国学力・学習状況調査の結果、英語が全国平均と比べて低い結果となっている。令和6年度は、中越教育事務所に要請して英語の重点指導を受ける。英語の授業力向上に向けて取り組む。

エ ふるさと教育・キャリア教育の推進

【令和5年度の取組み】

- 「おりなす教育推進事業」を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人と繰り返しかわる（おりなす）教育を推進し、ふるさとに誇りをもち、夢に向かって進む礎づくりを行った。
- 市内の企業及び事業所からの協力を得て、中学校1・2年生対象の「おぢやしごと未来塾」を実施することができた。「職場体験活動」についても2年生を対象に3日間実施した。

※資料P149～152 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各校が地域の特色を捉えた特色あるふるさと教育・キャリア教育を推進できた。
- キャリアパスポートの活用を進める。校種が変わっても継続して利用し、個々に求められる資質・能力を育んでいく。

オ 震災体験を活かした防災教育の推進

【令和5年度の取組み】

- 「防災教育の推進」を「おぢやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 中越大震災を風化させない取組を各校で推進した。
- 中学校3年生対象の「おぢや防災塾」を実施し、災害時に命を守る行動を学んだ。

※資料P149～152 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 「おぢや震災ミュージアム そなえ館」の活用が進み、震災への心構えができてきている。中越大震災を風化させない取組を各校で継続していく。
- 地域を巻き込んだ防災訓練や体制整備を進める。
- 洪水や土砂災害など自然災害が頻繁に起こる状況になっている。地域の安全を意識し、地域の安全を守る子どもたちを育てていく。

カ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進

【令和5年度の取組み】

- 毎月、児童生徒のいじめ報告や出欠状況報告を学校に求めている。学校からの報告を基に、青少年育成センター所長、教育センター「マイルーム」指導員、市教育相談員、教育・保育課管理指導主事で情報交換会を行い、実態把握や対応の検討を行っている。
- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、SNSに係るいじめの事例を中越教育事務所指導主事から提供いただき、それをもとに協議を行った。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、令和5年度に実際に起きたいじめの事例を基に、様々な立場から、いじめ対応についての専門的なご意見をいただいた。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を年2回、実施し、対応力の向上を図った。
- 不登校児童生徒の保護者に寄り添うため、不登校児童生徒の親の会を3回開催し、保護者同志の情報共有の場を作った。
- 改訂された「新潟県人権教育基本方針実践のための教職員研修の手引き」基に、一層の人権教育、同和教育を推進していく。
- 東小千谷小学校を指定校に「人権教育研究指定校事業」を実施し、教職員研修会を年2回、人権教育に関する道德授業の学習参観を実施し、人権教育を推進した。
- 「いのち・愛・人権」小千谷展において、人権・同和問題による差別の歴史や現状をパネル展示し、差別解消に向けた学びの場を提供した。

- ※資料 P 41 「■人権擁護関係事務」参照
- ※資料 P 149～152 「○教育指導経費」参照
- ※資料 P 153 「○適応指導教室経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 学校の早期発見・早期対応により、いじめの重大事態はなかった。
- 生徒指導担当者研修を受けて、各校でいじめに関する教職員研修が行われ、教職員のいじめに対する知識や対応能力の育成が図られた。
- 小・中学校とも不登校児童生徒が増加している。一人一人の子ども状況に応じた対応が重要となる。これまで以上に、組織的な対応が必要である。
- 児童生徒、保護者の不安や悩みに寄り添った支援の充実が大切である。教育委員会主催の「不登校児童生徒親の会（スマイルの会）」を立ち上げた。計3回の実施を経て、毎回参加者が増えている。保護者支援を通じて、連携の輪を広げていく。
- 不登校については、学級担任が抱えることなく、校内での協力体制や外部の専門機関との連携を図っていく必要がある。教育委員会がハブの役割を果たしていく。
- 「いのち・愛・人権」小千谷展において、児童生徒のパネル見学は人権問題・同和問題に関心を持ち理解を深めることができた。
- 同和教育に関わる教職員の研修支援を継続していく。

キ 英語教育・国際理解教育の充実

【令和5年度の取組み】

- ALT 4名、外国語指導助手1名、英語教育推進員1名を配置し、外国語教育、国際理解教育を推進した。
- ウィンターイングリッシュキャンプは、小学生、中学生と一緒に参加し、半日で実施した。

※資料 P 149～152 「○教育指導経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ウィンターイングリッシュキャンプの実施により、児童生徒の国際理解の推進、英語力向上を図ることができた。令和6年度も推進していく。
- ALT（外国語指導助手）4名体制、小学校5・6年外国語は英語専科教員とALTとのTT授業（ティームティーチング授業）、3・4年生はと英語教育推進員と学級担任とのTT授業体制を、今後も維持していく。

ク 非核平和教育の推進

【令和5年度の取組み】

- 被爆体験伝承講話会が実施され、市内中学生が被爆体験者から直接話を聞く機会をもった。
- 非核平和ポスター展に市内中学生等が「世界が平和であることの大切さ」や「核兵器の恐ろしさや核兵器を無くすこと」を題材にしたポスターを作成し展示した。

【成果及び今後の取組み等】

- 被爆体験伝承講話会や広島平和記念式典への生徒の派遣事業などを通して、核のない平和な社会を築くことの大切さについて、実感をもって学ぶことができた。
- 社会科や国際理解教育、道徳教育等、様々な学習場面で、児童生徒に生命や平和の大切さを伝えていく。

ケ 食育の推進

【令和5年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。
- 毎月の食育の日（19日）に市内統一の「おぢやっ子わくわくメニュー」を提供することで食育の推進を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。更に、地場産物の利用促進を図るため、地元納入業者及び農家と懇談会の場を設けた。また、良質な小千谷産コシヒカリによる学校給食を継続するため、魚沼農業協同組合（旧越後おぢや農業協同組合）と覚書を締結し安定的な米飯給食の推進を図った。
- 「10.23中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料P173～174 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 給食週間のテーマを「おしえて！あなたの推しメニュー」とし、市内の有名人・代表する方へおすすめの献立を聞き取り、市内の子どもたちへのメッセージをいただくとともに動画をまとめ給食時間に放送することで、市内の子どもたちに給食週間の意義や小千谷市を代表する人・産業など、食を通じて周知を図ることができた。

- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続し、食育の啓発を図る。また、「おぢやっ子わくわくメニュー」では、新潟県の県魚である泳ぐ宝石“錦鯉”をイメージした「錦鯉給食」の実施や新潟県教育の日に関する条例（令和4年12月）の制定に伴い新潟県教育月間である11月を米飯給食、地場産給食推進月間とされたことから地元米及び地場産物を使用した「キラッと新潟米☆地場もん献立」を提供した。
- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。また、生産者が減少する課題について、地元納入業者等と連携しながら、小千谷産の地場物の利用維持に努めていく。
- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。

コ 学校給食の運営

【令和5年度の取組み】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。
- 学校給食における食物アレルギーマニュアルの見直しを行った。

【成果及び今後の取組み等】

- 安心・安全な給食を提供するため、調理員等を対象とした研修会を継続して行う。
- 学校給食に限定していた食物アレルギー対応マニュアルを学校教育活動全体に対応する内容に変更した。各種マニュアルを随時見直し、適正な衛生管理等に努める。
- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

(3) 特別支援教育の充実

ア 就学相談体制の充実

【令和5年度の取組み】

- 各園の「発達支援コーディネータ」を対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 特別支援教育指導主事を中心に各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集し、その後の就学相談につなげた。

【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について保護者と学校との調整を図ることで、就学前児童の円滑な就学を進めることができた。

- 総合支援学校の地域連携担当と特別支援教育指導主事が役割分担を明確にしたことで、保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 特別支援教育指導主事を中核として、各園職員の特別支援教育への理解、各小中学校の専門相談員の適切な就学の相談や判断のあり方等の研修を今後も進めていく。

イ 特別支援教育の充実

【令和5年度の取組み】

- 小・中・総合支援学校に特別支援アシスタント30名、小学校に学校支援員16名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。年間5回の教員向け研修会を実施した。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かした相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料P155～156 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P157～158 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P160 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が、各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 通常学級に在籍しているが、個別の配慮を必要とする児童生徒が増えている。令和6年度特別支援アシスタント5名、学校支援員1名の増員した。発達障がいと疑われる児童生徒に対する適切な支援、通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童に対する対応や支援等を学ぶ研修をさらに充実させていく。

ウ 総合支援学校の運営

【令和5年度の取組み】

- 地域コーディネータを配置し、各校と総合支援学校との連携を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を年5回実施し、市の特別支援教育の充実を図った。

【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定子ども園との連携が年々充実してきている。特に、保育園と総合支援学校のホットラインが有効に機能

- しており、保育園の困り感に迅速に相談・対応できている。
- 教員のニーズに応じた研修講座を実施し市内教職員の積極的な参加を促す。

エ 生徒への就労支援

【令和5年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

【成果及び今後の取組み等】

- 生徒の希望に沿った職場実習を継続的に行うことで、生徒の適性に応じた就労につなげることができた。令和5年度の職場実習事業所数は21事業所で昨年度より4箇所増えた。今後も受入れ事業所を増やしていく。
- 令和5年度の高等部の卒業生7名のうち、2名が企業就労、5名が福祉サービス事業所利用であった。
- 高等部の卒業生の増加に伴い、更に生徒の希望に沿った受け入れ先を開拓していく必要がある。

(4) 教育環境の整備

ア 学校施設の整備

【令和5年度の取組み】

- 小学校の校舎整備工事を実施した。
 - 〈主な工事〉
 - ・小千谷小学校自動火災報知設備受信機交換工事
 - ・小千谷小学校蒸気ボイラー本体漏水緊急対応工事
 - ・東小千谷小学校プールろ過機塗装・ろ材入替工事
- 中学校の校舎整備工事を実施した。
 - 〈主な工事〉
 - ・小千谷中学校管理・普通教室棟長寿命化改良工事
 - ・小千谷中学校井戸ポンプ揚水管取替工事
 - ・片貝中学校電話主装置更新工事
- 総合支援学校の校舎整備工事を実施した。
 - 〈主な工事〉
 - ・総合支援学校職員室等増築工事
 - ・総合支援学校ランチルームエアコン更新工事

※資料P157 「○小学校施設整備事業」参照

※資料P159 「○中学校施設整備事業」参照

※資料P159～160 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。
- 学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。

〈今後の主な工事〉

- ・小千谷中学校特別教室棟長寿命化改良工事

イ 学校給食施設の整備

【令和5年度の取組み】

- 給食センターガス焚き温水ボイラ更新工事
- 給食センター調理室照明ランプLED化工事

【成果及び今後の取組み等】

- 今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

〈今後の主な工事〉

- ・小千谷小学校給食用蒸気ボイラ修繕工事
- ・給食センター屋上防水改修工事
- ・給食センター雪庇防止フェンス設置工事
- ・給食センタープレハブ冷蔵庫更新工事
- ・給食センタープレハブ冷凍庫更新工事

ウ ICT環境の整備

【令和5年度の取組み】

- 学習端末の活用を図るため、教職員対象の活用研修を継続して実施した。
- ICT教育を推進するため、情報通信技術支援員の配置及び情報教育業務委託を継続して行った。
- 教職員等が使用する校務支援ソフトを一層活用するため、研修を実施した。

※資料P153～154 「○教育センター経費」参照

※資料P155～156 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P157～158 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P160 「○特別支援学校教育振興経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- ICT活用授業実践研修や学習端末活用研修を実施し、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力が向上した。
- 情報通信技術支援員及び外部委託により、各校のICT教育推進を支援しながら進めたことで円滑な導入を図れた。引き続き、教職員の負担が過度

にならないよう学校の取組を支援する。

- 総合学習支援ソフトの整備により学習端末を使用した授業が活発化された。更に活用を図るため、教職員のフォローアップ研修を進めていく。
- 校務支援システムのグループウェア機能により個人連絡も容易に行えるようになり、学校を超えた情報共有や課題解決に向けた取組を進めることができた。引き続き、事務のデジタル化を進め、事務負担の軽減を図る。

(5) 育英事業の推進

ア 育英事業に対する支援

【令和5年度の取組み】

- (公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。
 - ・貸与者数 新規 14人 継続 36人 計 50人
 - ・令和5年度貸付総額 15,096千円
- (公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。
 - ・学生寮入寮者数(4月1日現在)
 - 新規 10人 継続 10人 計 20人

※資料P149 「○学校教育総務経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 令和6年度奨学生募集より、成績基準要件の撤廃を行い、24人から申込みがあった。
- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

2 子育て環境の充実

(1) 子育て支援の充実

ア 子育てを支援する地域社会づくりの推進

【令和5年度の取組み】

- 小千谷市子ども・子育て支援事業計画に基づき各種事業を継続実施し、次期計画策定に向けたニーズ調査を実施した。
- 保育園を核とした地域住民参加・交流による子育て支援活動を実施した。
- 町内会等の管理する児童遊園遊具等の新設・増設・修繕に対して助成を行った。
- 放課後子ども教室を開催し、放課後の子どもの居場所づくりや知識・経験

の伝承の場を提供した。

※資料P88 「○児童遊園管理経費」参照

※資料P163 「○地域子どもはぐくみ事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小千谷市子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から令和6年度までの5ヶ年計画である。次期計画策定のために実施した調査結果を踏まえ、子育て支援策の検討を行っていく。
- 各園で実施している子育て相談及び未入園児お招き会などを通じ、保育園における各地域の子育て支援サテライト機能を充実していく。
- 児童遊園遊具等の助成により、児童が安心安全に遊べる環境整備を図る。
- 放課後子ども教室の開催により、児童の意欲が向上し学習や生活に変化をもたらしている。事業継続にはボランティアの確保が課題となっている。

イ 保育サービスの充実

【令和5年度の取組み】

- 保護者の子育てと就労との両立及び多様化する就労形態に対応するため早朝・延長保育、一時保育を実施した。また、令和5年度より早朝・延長保育料を一部無償化し、就労支援を拡充した。
- 遠距離から通園する児童の保護者に対し、負担軽減を図るため通園費の補助を行った。
- 共働き世帯の増加により保育ニーズが高まっている未満児（0～2歳児）の受入れ体制整備に努め、特に成長に差がある1歳児は、国配置基準よりも手厚い保育士配置を行い、安心・安全な保育環境の提供を行った。
- 障がいのある子どもの受入れにあたり、保育士の加配を行い、健常児と共に集団保育を基本に成長発達を促せる環境での保育を提供した。

※資料P83～84 「○保育園経費」参照

※資料P84～85 「○子ども・子育て支援事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 早朝保育や土曜日を含む延長保育、一時保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援した。早朝・延長保育料の一部無償化も継続し負担軽減策を図る。
- 通園費補助を行うことで遠距離通園に係る保護者負担軽減が図れた。
- 未満児、障がい児保育の需要に対応する受入れを行うことができた。引き続きニーズに対応した保育士の確保に努める。

ウ 保育施設の適正配置の推進

【令和5年度の取組み】

○保育施設の利用ニーズに対し、受入体制の確保を行った。

【成果及び今後の取組み等】

○令和6年度の入園募集を行い、全ての児童の受入れをすることができた。

○保育園の老朽化が進んでいるため、地域別、年齢別の児童数に基づき、保育サービスの向上を前提とした保育施設の適正配置を進める。

エ 放課後児童クラブ（学童保育）への支援

【令和5年度の取組み】

○放課後児童クラブの利用ニーズに対して、受入体制や活動場所の確保と安定的な運営を支援した。また、令和5年度から多子世帯の負担軽減を図るため2人目以降の利用料の半額減免を行い、支援を拡充した。

※資料P85～86 「○放課後児童健全育成事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

○事業の安定的な運営と児童への保育の質の向上に取り組めるよう補助を行い支援した。今後も継続した協力体制が必要となる。

○令和6年度の利用ニーズの高まりにより、新規開設するクラブの事業者に対する支援を行い、受入体制を確保した。今後も運営支援やニーズに対する対応を進める。

Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和5年度の取組状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

- ・幼児教育では、親のニーズと現場の対応、職場の人員など、その勤務体制をうまく進めていく必要がある。
- ・就学時に関しては、早い段階で教育委員会の方が園に来て、就学前の園児の様子を見たり、保護者からの相談もしていただいて園との連携はここ近年早めになっている。
- ・就学する子どもの保護者が安心して小学校に移行できるシステムはすごくいいと思うが、保護者の願いが教育委員会とずれるところがある。親の心配事や本音が言えないところがあり、もう少し園と円滑にしながら相談窓口が更にいい方向になるといい。
- ・今後、幼稚園や保育園を訪問したり、難しいようであれば園長先生に来ていただいたりして、親のニーズと職員との対応にずれが生じないように共通の課題として共有できる機会があるといい。

・教職員の新卒確保やなり手不足の中で、まずは離職を防がなければならない。一番は校長先生がリーダーシップをとって学校と教職員とのエンゲージメントを向上させなければならないと思う。

・小千谷しごと未来塾の開催によって、こういうものが小千谷にあったのかということを見たり知ったりする機会が増えている。10年、20年先に戻ってこようかなという子どもたちが増える可能性があると思う。参加する小千谷市内の企業や店舗が増えていくためには、商業や工業だけでなく農業も小千谷市は非常に質の高い米や作物を作られているので、そういう方々にも声掛けをして児童生徒に知ってもらいたい。

・いじめ不登校対策は、とても手厚くされていることがよくわかった。抱え込まずに組織的に対応することが一番大事だと思うので、引き続きご指導していただきたい。

・小千谷市は、学校や生徒、保護者への支援が手厚いと思う。特に、不登校児童生徒の親の会は、保護者と関係する方々が一同に会して、希望者の相談や困っていること、悩んでいることを話す機会が設けられている。参加した人から、出てよかった、声をかけてもらってよかったという意見を聞くことができた。そういう場が設けられて、一人でも二人でも安心する方々が増えていくことは非常に良いことではないかと思う。

・小千谷市は、不登校児童生徒やその親、あるいはひとり親など、特別な支援を要する児童生徒に対して手厚いと感じている。全ての子どもに対して小千谷市は優しい教育を充実していますというキャッチコピーなど、全面に発信していくこともある面必要ではないか感じた。当たり前のことではなくて一生懸命にやっていることをぜひ皆さんに知っていただくことで、協力しようとか、そういう目で見えていこうかという見方も変わってくると思う。

・フランスの女の子が教職員を目指して小千谷に滞在しているが、小学校中心に何回か学校訪問をさせていただいた。その際、小千谷の子どもたちはすごく穏やかで授業に集中してすごいと言っていたが、2回、3回通ううちに、全然言い争いをしないし、学校で取っ組み合いのけんかをしているのも見ない。日本の教育、小千谷の教育では子どもたちがお互いに人間関係の問題を解決する力が育っていないのではないか。子どものトラブルは、先生方が間に入って解決しなければならない状況が日本の教育の現状である。フランスでは子どものトラブルは全て親の責任となっている。子どもたちの自立や問題解決の能力を育む意味でも、少し親や学校の役割分担を見直す時期に来ているのではないかと感じている。

・英語の学力は全国平均と比べて低い。子どもたちの興味がそこに向いていないし、先生方にも共通して言えることではないか。地域の枠を超えて、外の異文化に目を向けることに弱い気がする。英語はコミュニケーションの道具ではなくて単なる勉強、成績稼ぎの勉強、受験の道具でしかないので、やはり興味がそがれている。技大や国際大学など留学生がたくさんいるので、交流の機会を作ったり、頑張っている子どもたちに一週間くらい外国にホームステイをさせてあげるなどすることで、子どもたちの興味が向いてくると思う。

・特別支援教育に対して小千谷市は手厚いと感じた。特に5年度は特別支援教育指導主事が配置されたことは大きい。

- ・ICT教育指導主事も配置されていて大変手厚くされている印象がある。小中学校でしっかり取り組みをしていただいで、これからも教育の充実を図っていただきたい。
- ・小千谷学生寮の入寮生も増えてきて学生さんたちが充実した日々を過ごしていることを教育委員になって初めて知ることができた。普段からすごく和気あいあいと充実した生活を送っていることを時々発信いくことも大事ではないか。ホームページなどがメインになると思うが、少しずつでもいいので充実させていっていただきたい。
- ・部活動地域移行は、地域に移行しても中学生や高校生にとって部活はとても大切な生活の一部になっていると思う。指導者の方々には教育的な配慮を持って指導していただきたい。
- ・保護者の方は共働き世代が多く、友達の家に行くのも遠いし、働いている世帯は学童に行っているのので、家に帰ってくると友達と自由に遊ぶ機会がほとんどない。放課後こども教室があることで、先生でもなく家の人でもない地域の方が見守ってくれるので、学年を超えた友達と自由に過ごすことができる。子ども自身もとても楽しみにしているので続けていただきたい。

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和6年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目1番38号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519

FAX 0258-83-5779